

第 166 号 内容紹介

1 , 傅大為 「前進:台湾反戦声明と未来の展望」

2023年3月に「反戦声明」をだした台湾の学者グループが、多くの賛同者を得て「活動ネットワーク」を結成、世論に働きかけている。リーダーがその活動と今後の展望を語る。

2 , y.シュリアシェンコ 「戦争の必然性の物語を変える」

良心的兵役拒否と非暴力の抵抗を唱える「ウクライナ平和主義運動」のリーダーの最新インタビュー

3、 T.スナイダ^h 「米国の優位は終わったのか」

各国が覇権から独立して多様な選択をする多極化の流れを理解できないアメリカは時代の変化から取り残されつつある。リバタリアン系の米学者がインドなど非同盟諸国の外交と対比して考察。

4 , D.コンスタンコプロス 「中国の未来と人類文明崩壊の危機」

ギリシャのパパンドレウ首相元顧問で、シラズ党書記を務めた筆者が、危機打開の新しい「第五インタナショナル」の必要を説く。アテネで開かれた欧州左派の国際政治経済学会での報告。

5 , 新藤通弘 「ベネズエラ大統領選挙をどうみるか」

米投票結果を検証した最高裁の選挙法廷はマドゥーロ候補の勝利を確認したが、米国は反発。内部告発などが伝えられたが。分析の第6弾。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news](#) の編

[集日記 \(livedoor.jp\)](#))